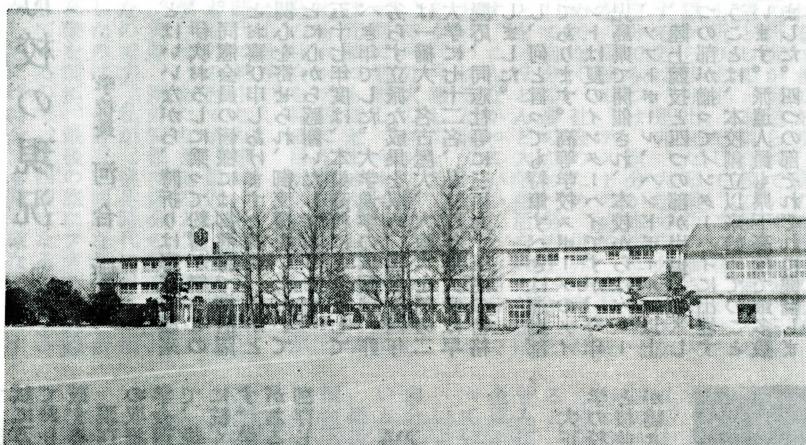
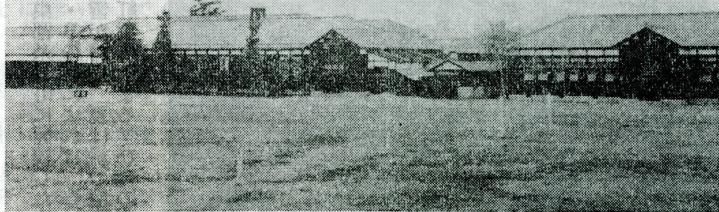


同窓会だより



現在の校舎



昭和初期の校舎

同窓会会員の皆様には益々御清祥にて、輝かしい昭和五十八年の新春をお迎えになりました事は誠にお目出度い事で、お喜び申し上げる次第で御座います。

卒業生も一万八千有余名を数うるに到り、社会の各分野に於いて御活躍御精進されて居ります事は、誠に御同慶の到りに存じます。

同窓会の過ぎ去りし一年の歩みを御報告申し上げますと、昨年二月六日に揖斐郡の教職員の方々の同窓会が大野町に於いて盛大に開催され、又五月十五日には関西支部の總会が京都の二条觀光ホテルに於いて開催され、関西地区の多くの卒業生の方々がお集りになり、就中御婦人の方が多く御出席になりました。五月二十九日には岐阜文部の總会が、岐阜市ニューナガラカンに於きまして、第十三回卒業で文壇有名な豊田穣先生をお迎えして、本中時代の想い出に就きましてお話があり、盛大で御座いました。八月二十一日には、本部の總会が大野町武道館に於きまして開催され、当日の出席者は百四十名として、今までの同窓会で出席者のかつた事は初めてで新記録をつくりました。第十七回卒業の横山副知事が公務御多忙の所を御出席になり、学生時代の思い出話から昨今の状勢につきまして種々とお話をあり、深い感銘を受けました。高校卒業三十年目の方に、特に御出席を呼びかけ致しました。三十年前の昭和二十七年三月卒業の数名の世話人の格別のお骨折によりまして、大勢の方方が御出席になりました。今年は昭和三十八年三月卒業の方に、出席を呼びかける予定で御座います。

懇親会に入りましてから、母校の創立六十周年の八ミリの記念映画を上映致し、昭和五十二年卒業で岐阜放送の歌手伊吹まゆみさんが特に出席され、種々の歌をうたわれ、時の経過するのも忘れて、なごやかなムードの裡に非常に盛大に行われた次第で御座います。十一月二十七日には名古屋支部の總会が、名古屋貯金会館に於いて盛大に開催されました。

本部總会或は支部總会共、回を重ねる度に出席者は次第に増加致しており、從来の總会とは趣を聊か異に致し、世代の若い方、又御婦人の方の出席者が多くなってまいりました事は、喜ばしい次第で御座います。同窓会は且つて同じ学びやを巢立致しました者が、年に一回一堂に会し、且つての青春の時代に想を致し尽きぬ数々の思い出話に花を咲かせ、友情の輪を拡げ且つ友情の絆を強める唯一の機会で御座います。

今後も世代の相違を乗り越えて、多くの方が出席され同窓会の活性化を図り、会員相互の親睦を深め、同窓会開催の意義が一層高まります事を期待致しますと共に、同窓会会員の皆様の御健康と御活躍をお祈り致しまして、御挨拶と致します。

ご挨拶

同窓会会長 井深透

同窓会会員 井深透

岐阜県立本巣高等学校同窓会本部事務局

岐阜県本巣郡糸貫町仏生寺
郵便番号 501-04 電話 (0583) 24-1201

母校の現況

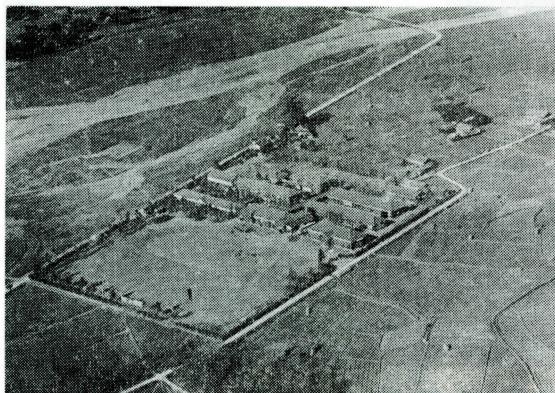
學校長 河合 敏緒

暖冬とはいはながら、時折りは寒波の襲来もあり、伊吹おろしに乗って粉雪が舞うこの頃です。同窓会員の皆様には御健勝で御活躍のこととお喜び申しあげますと共に、何かと母校に关心を寄せられ、御支援をいただいていることに心から感謝いたしております。

しかし、何と言つても特筆すべきは運動部の活躍であります。高等学校スポーツのメインイベントは夏のインターハイですが、今年度は鹿児島県で開催され、本校からはバレーボール、ソフトボール、ハンドボール（以上女子）、陸上競技と四つの部が出場しました。四つの部が揃つてインターハイに出場するということは、本校創立以来始めてのことだと思います。派遣人員も県下高校で最多となりました。四つの部それぞれに健闘しましたが、中でもバレーボールの活躍が光つております。ベスト四に残り、決勝進出をかけた四天王寺高校と対戦しましたが、残念ながら敗れ全国第三位に留りました。なお、本校チームから二名の者が東日本の優秀選手として参加し、活躍しました。

ソフト、バレーは既に全国でそれぞれ二位、三位という成績を挙げておりますので、チャンスがあれば、全国優勝を狙わせたいと思つております。

本校には運動部が活躍した年は、必ず大学進学の成績も良いというジンクスがあります。高



昭和初期の全量

学校周辺の

後藤
正紀

大正十年、本巣郡糸貫町に開校した本巣中学校の校庭は、O・Bの話によれば、春になると桜並木に花吹雪が舞い、夏は緑の樹木に蝉が鳴き、秋には紅葉にそまる学び舎の窓、そ

An aerial black and white photograph of a large university campus. The campus features a grid-like pattern of roads and paths. Several rectangular buildings of varying sizes are scattered across the grounds, some with surrounding trees. In the foreground, there's a larger building complex with multiple wings and courtyards. The overall layout is spacious and organized.

す。三年生の諸君は、間もなく始まる大学入試で万全の態勢で臨ひべく、懸命の努力をして

詰め入るの意勢で、間もなく、縣令の命令が下され、てあります。国公立大学の合格者が百名を突破するものと期待しております。

現在、本校の図書館では、同窓会員の著書の収集を行っております。これは加藤記念図書学会理事長加藤利一氏の御提案によるもの

で、後輩の生徒に先輩の業績を知らせ、先輩に続く意気概を持たせたい、という意図であります。学校としましても、どなたにどんな著書があるのか把握しがねる点がありますので、御存じの方は是非とも学校に御連絡ください。

ますよう御願い申しあげます。校庭の松樹は年と共に形を整え、銀杏の樹はいよいよ高く高くなつております。嚴寒の中に永久に変わぬ緑をたたえ、はたまた、たくましい枝で天を支えている姿は、「志操堅困」・「質實剛健」そのものであります。この伝統の精神をバックボーンにして、益々活氣ある高校にしていきたいと考えております。同窓生の皆様の一層の御支援、御鞭撻を心からお願いいたしますと共に、同窓会の御発展をお祈り申しあげております。

全く、昔、月見草の生い繁った懐しい糸貫川原も大きく変貌し、面影を留める所がなくなって来ている。本当に感慨無量の感がする。

總會報告

昭和五十七年八月二十一日(土)午後二時より大野町の「武道館」で、五十七年度の総会が開かれた。

本年度は総会の持ち方を、所縁会長の提案で卒業三十周年にあたる会員（本年は昭和二十七年三月卒業）に出席を呼びかけ、大林やス子氏等の御尽力により多勢の方々が御出席になり、総勢百四十名の出席を得て、佐倉岐阜支部長の司会で始まり、井深会長、河合校長の挨拶のあと、多忙な所を時間を割いて駆けつけられた横山副知事（中十七回卒）の御挨拶後、梅田昭二氏（中二十二回卒）の議長で議事に入った。

総会後は懇親会にうつり、60周年記念行事の八ミリ映画や、歌手伊吹まゆみ（高52年卒）の歌のアトラクションがあつたたりして、和やかに恩師10名を交え懐旧談が続々、盛会裡に夕刻散会した。

本巣高卒業後

現在まで

神戸市外大四年 津屋 雅彦

私は、一九七八年三月、晴れて本巣高校の卒業を迎えることの期待と喜びを胸一杯に新しい生活への深呼吸をしたもの。実際、高校生活を振り返って想い出ることは、勉強に、大学受験に、試験に、補習等、残念ながら現実の受験地獄の世を表わす事象ばかりです。日本の現在の教育制度が根本的に変わらない限り、これは仕方ないと言えれば仕方ありません。であれば、その制度が見直されるべきであり、真の高校生の勉強、大学生の研究が形成されていくことを、未来への希望として、本巣高校の後輩の皆さんに祈ります。そして、この春、やっとその地獄から抜け出せた卒業生の皆さん、大學進学する方は是非、大学で自分の好きな事を、自分でみつけ、自分が本当に学習すべきことを、受験や、テストの点や、まして先生のためでなく、社会のため、世界平和のために、そして自分の夢のため、努力すべきだと思います。こんなかっこいいことを自分はきたかといわれる恥ずかしいのですが、とにかくそう、今感じているのです。

私は、神戸大のロシア学科に入り、難しいロシア語に悪戦し、今もって、ロシア語が得意とは冗談にも言えません。しかし、大学で英語にもロシア語にも触れることがあって、自分の社会を見る目がグローバルに広がった気がします。

学生時代に熱中した事は、私の場合、何といつても海外の旅です。最近は、海外旅行に出る大学生は、あたりまえのようになつきました。実際、案外安価で自分の旅をつくるものなのです。私が、学生時代に日本脱出したのは、合計、三回になります。この春の卒業を前に、最後の旅にアメリカ大陸を目指しているので、計四回になるでしょうが、今から思えば自分でも驚く様な回数です。

支部だより

支部長 佐倉 式三

岐阜支部だより
豊田先生（中13）のご講演をお願いして次のように盛會裡に開催されました。五月二十九日（土）、ニューナガラ館にて本部より井深

アルバイトも一生懸命やりました。アルバイトで何とか海外の旅も夢ではありません。今まで行った所はアメリカ西部、ソ連、ヨーロッパ（北欧・中欧・南欧）、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポールです。何故、旅に出るか？それはそこに人々がいて、新しい出会いがあり、友情があるからです。美しく大きな自然もあります。歴史のある芸術もあるでしょう。こうして大学入学後、次々に、世界各地に、友人の輪ができ、これぞ最も自信できるものと思っています。

三年終了後、私は思い切って一年間の休学をしました。クラスメイトたちからは一年たち遅れてしまうわけですが、より広く多くの世界への視野を広げる時間の欲しかった私には止むを得ませんでした。そしてニュージーランドに渡りました。英語の学校に通い、ニュージーランドの若い人々と同じ家に共同で暮らし、身をもつて海外生活を体験してきました。現地の人々の中に溶け込み、あちら式の生活することで、英語の上達にもなり、異国の人々とも、いくらでもコミュニケーションをとれるという喜びを感じました。

帰国して「大学にもどり、ボケーとしている」と、いつの間にか就職戦線にのみ込まれ人並みに就職活動をし、運良く旅行関係の大手企業（日本航空）に就職が決まり、現在に至っています。



引続いての講演会は豊田先生の「郷土の文化」一本中の想い出と題して、なつかしい中学時代の懐旧と恩師の素描等、又先生の生きいき戦争体験等についてお話をうかがいました。その間進行係の村木（高11）、高橋（高13）両幹事の采配よろしく先輩諸兄のス

昭和五十七年度の岐阜支部総会は作家の豊田穂先生（中13）のご講演をお願いして次のように盛會裡に開催されました。五月二十九日（土）、ニューナガラ館にて本部より井深

名古屋支部だより

支部長 川瀬 正一（昭2）

本巣高校名古屋支部会員は男五三五名・女五〇二名です。昭和五七年十一月二七日、名古屋郵便貯金会館に於て支部総会を開催しました。本部から井深会長・翠副会長・河合

会長、河合学校長、富田先生のご出席をいただき、会員出席者は中学校168名・女学校131名、高等学校137名、計一三六名で昨年より更に多数の出席者となり、とりわけ若い高等学校的出席者が多くなったことは喜ばしいことがありました。



